

主な議案

る。市民の声を真摯に受けとめ、行く先も目的も定まらない中での議員派遣旅費は削減すべき②不妊治療費助成事業は、少子化や人口減少が叫ばれている中、減額すべきではない③敬老祝金の支給回数と支給額の大幅な削減は高齢者の楽しみを奪うものであり、改善を求める④在宅要介護高齢者介護支援金支給事業も、今後高齢者人口が増えていく中で、在宅での高齢者介護は、ますます重要になる。介護者の御苦労を慰労し、励ますためにも1万5千円は堅持すべき⑤上戸田地域交流センターの使用料は、上戸田福祉センターの使用料の2倍から3倍への値上げとともに、社会教育登録団体に対する使用料の免除が廃止されるため反対⑥戸田市の交通の要である埼京線3駅の自転車駐車場は公共性の高い施設であり、利用者



▶4月に開設した「こどもの国」

ばかりに負担を求めるのではなく、JRにもその負担を求めることを考えてもよいのではないかと。指定管理者との協議のもと、登録料金を受益者負担100%の考えで最大4倍まで引き上げることには賛成できない⑦学童保育室の保育料は、官民格差の問題や多子軽減策もない大幅値上げ



細田昌孝議員

負担の公平性が確保されたことを評価

①開封市及びリバプール市への海外派遣旅費は、平成28年に市制施行50周年を迎える本市にとって、これらの友好関係をさらに親密で強固なものとするためにも、議会に限らず、引き続き交流を深めていく必要がある②敬老祝金及び在宅要介護高齢者介護支援金の改定は、さきの12月議会において議

で反対⑧26年度、合計約11億円の財政調整基金積立金を積み増しできる余裕財源があるのならば、もつと単年度の市民生活に生かすべきである。市政運営のあらゆる分野に市民協働の本旨が貫かれることを要望して、反対討論とする。

決をしたものであり、引き続き高齢者が地域で安心して暮らしていけるように、地域福祉の向上や地域包括ケアシステムの構築など、新しい課題にしっかりと取り組むことを望む③上戸田地域交流センターの使用料は、事業の性格から、市が公費で負担するべき割合を考慮して算出された。新施設では無料で使える交流スペースなどにも用意される予定であり、これまでの活動団体に加えて、新しい利用者にも活発に使用していただくよう、負担の公平性、基準の透明性が確保されたことは評価できる④学童保育料は利用者の所得状況に配慮した料金設定であり、近隣市との比較においても、受益者負担に基づく適正なものである⑤不妊治療費助成事業は、限られた予算の中で多くの市民にサービスを提供できるようにするために、一回の助成額の減額はや



酒井郁郎議員

戸田市らしい協働の形を作り上げていくべき

地域包括支援センター運営費について、国県より1600万円以上の補助金の交付を毎年、新規に受けるようになることを歓迎する一方、これまで受けられるはずだった補助金を受けてこなかった

意見書(委員会・議員提出議案)を県・国に提出
◇緑川改修計画の促進等を求める意見書(2月臨時会)
地盤の低い喜沢地区や喜沢南地区における水害対策として緑川の改修計画の促進など4点について県に要望するものです。
◇ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書(3月定例会)
将来にわたってドクターヘリを安定して運用していくために、実態をよく踏まえた上で、補助金の算定方法及び基準額の改善を図ることなど、2点について政府に求めるものです。
◇「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書(3月定例会)
一日も早い「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」の構築に向けて、我が国が積極的貢献を果たすよう、5点について政府に求めるものです。

点については、明快な説明を求める。防災備蓄の品目多様化を図ったことを評価する一方、マンション等の集合住宅を初めとする、自主防災会未加入世帯への対策を求める。がん検診において胃内視鏡検査の導入に踏み切ったことを評価する一方、検査内容の選定に当たっては、市民にとっての価値や医療費削減効果を基準とすべきと考える。保育所定員の大幅増や、学童保育室の受け入れ学年の拡大を行い、子育て支援の拡充が図られることを評価し、今後の放課後対策における全児童対策や、学校施設の活用などへの発展を期待する。生活保護受給者に対する総合的な自立支援として、特に教育支援の分野においては、生活保護家庭のみならず、生活困窮家庭へも対象を拡大する点については評価する一方、学習教室については早期の実施を求め

る。笹目中においては地元元の学習塾と提携し補習授業を開始したとの一部報道もあったが、民間を活用した全児童生徒対象の事業へと統合していくことも検討願いたい。

介護保険特別会計予算

結果
原案可決(20対3)

※委員会審査において、本予算の編成方針について賛否両論がありました。

人事案件

教育委員会教育長

平成27年3月31日付で羽富正晃氏が辞職することに伴い、新たに任命するもので、任期は3年です。

戸ヶ崎 勤氏(新任)

結果
同意(全員一致)

国民健康保険特別会計予算

結果
原案可決(20対3)

※委員会審査において、課税限度額の引き上げについて賛否両論がありました。

請願の結果

不採択(1件)

市民が利用しやすい公共施設の料金設定を求める請願(上戸田地域交流センター)

議員辞職のお知らせ

1月31日付で岡崎郁子議員(日本共産党戸田市議団)が、2月13日付で斎藤直子議員(平成会)が辞職しました。現在の議員数は24人。議会内の会派構成は下記のとおりです。

- 志政クラブ7人
平成会5人
公明党5人
戸田の会4人
日本共産党戸田市議団3人

知っtocoクイズ当選者

12月定例会号「知っtocoクイズ(No.2)」の正解は、問1「調査」、問2「ラック」でした。

正解者16人の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- 春山郁雄さん
小野木成美さん
大山宣治さん
寺岡史香さん
関口友香さん

7 ★5月から、「議会を知っ toco 市議会見学ツアー」を始めます。

6 議会を知っ toco 市議会見学ツアー……ツアーにお申し込みいただくと、議会事務局職員が議場・委員会室等を御案内し、議会の役割や仕組みなどを説明いたします。詳しくは議会ホームページをご覧ください。

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果

主な議案

委員会の審査から

総括質問

一般質問

委員会年間活動成果